

2018 テレ玉入試特別番組「埼玉県公立高校入試の傾向と対策」練習問題 < 社会 >

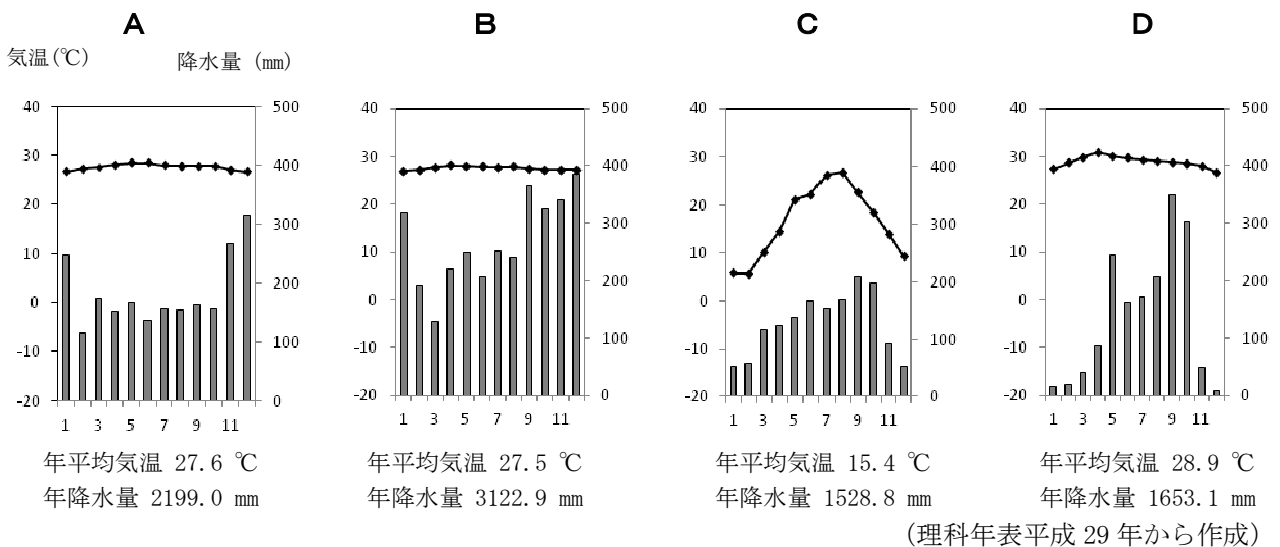
<練習問題①>

地図



(1) Fさんは、地図中に示した、東京、バンコク(タイの首都)、シンガポール、バンダルスリブガワン(ブルネイの首都)の4つの都市の気温と降水量を調べ、次のA～Dのグラフをつくりました。このうち、バンコクの気温と降水量を示すものを、A～Dの中から一つ選び、その記号を書きなさい。また、そう判断した理由を、選んだグラフから読みとれる気温と降水量の特色をふまえて書きなさい。

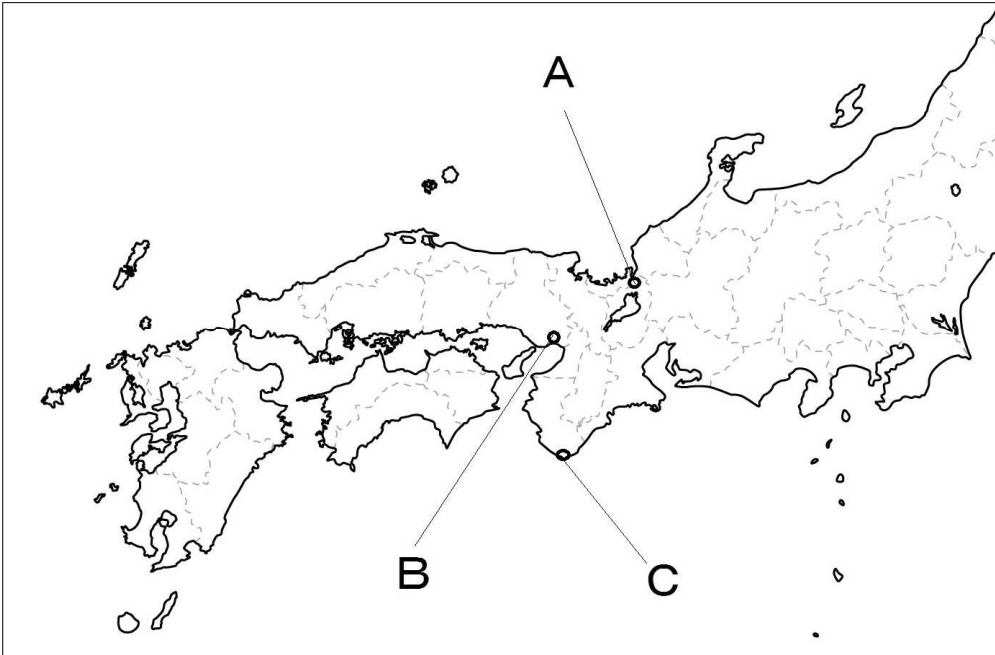
グラフ



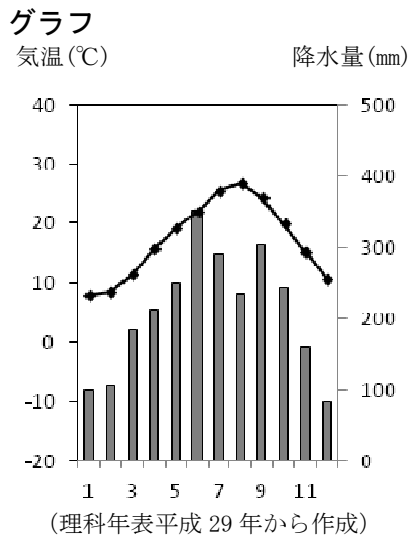
(2) 東京のある日本は、タイ、シンガポール、ブルネイと2国間の経済連携協定を結んでいる。経済連携協定をアルファベット3文字で何というか、書きなさい。

## <練習問題②>

地図



- (1) 次のグラフは、地図中のA～Cのいずれかの地点の、月降水量と月平均気温を表したものである。このグラフは、3つの地点のいずれのものか。その地点を地図中のA～Cから選び、記号で答えなさい。また、そのように判断した理由を、「季節風や海流」という語句を用いて書きなさい。



- (2) 下の表のア～エは、地図中のA～Cの地点がある3つの県と三重県の、人口・米の生産量・工業出荷額を示したものである。三重県を示しているものはア～エのどれか、その記号を書きなさい。

表

記号	人口(千人) 2016年	米の生産量(t) 2016年	工業出荷額(億円) 2014年
ア	954	34100	30115
イ	1808	144100	105761
ウ	5520	185400	149600
エ	782	134300	19128

(日本国勢図会 2017/18年版から作成)

### <練習問題③>

- (1) 次の表は、2015年におけるモンゴル・ボリビア・日本の輸出総額に占める輸出品目別割合を、高い順に3品目、それぞれ表したものである。この表からわかるモンゴルとボリビアの2か国に共通した輸出の特色を、日本の輸出の特色と比べて書きなさい。

表 輸出総額に占める輸出品目別割合（上位3品目）

国名	第1位		第2位		第3位	
モンゴル	銅鉱	48.8%	石炭	11.9%	金	9.0%
ボリビア	天然ガス	43.2%	亜鉛鉱	9.9%	金	8.3%
日本	機械類	34.7%	自動車	21.2%	精密機械	5.3%

（日本国勢図会 2017/18年版から作成）

- (2) Mさんは、インドの輸出について調べました。下の表はそのとき調べたものの一部です。2002年と2015年を比べると、インドの輸出にはどのような変化がみられるか、輸出の上位品目と輸出額総計とに着目して書きなさい。

表 インドの輸出

	2002年（百万ドル）		2015年（百万ドル）	
	上位品目	輸出額	上位品目	輸出額
第1位	ダイヤモンド	7373	石油製品	30986
第2位	衣類	6048	機械類	22213
第3位	繊維品	6043	ダイヤモンド	21869
第4位	機械類	4404	衣類	18168
第5位	石油	2632	繊維品	17263
	輸出額総計	52472	輸出額総計	264381

（日本国勢図会 2005/2006年版，2017/18年版から作成）

社会 練習問題 【模範解答】

<練習問題①>

(1) 記号：D

理由：(例) 一年を通して気温が高く、雨の多い雨季と雨の少ない乾季があるから。

(2) EPA

<練習問題②>

(1) 記号：C

理由：(例) 季節風や海流などの影響で、夏の降水量が多く、温暖な気候だから。

(2) イ

<練習問題③>

(1) (例) 日本が原料を加工した工業製品の割合が高いのに比べて、モンゴルとボリビアは加工していない鉱産資源の割合が高い。

(2) (例) 輸出の上位3品目についてみると、2002年から2015年にかけて、1位だったダイヤモンドが3位に下がり、衣類などの軽工業製品の輸出から石油製品・機械類といった重化学工業製品の輸出が上位を占めるようになった。また、輸出額総計も約5倍となり、大きく増えた。